



第 15 号 おひさま通信

2019年4月

NPO法人おひさま生活塾



ごあいさつ



理事長 花岡 泉

近年、暖冬といわれていますが今年はほとんど雪も降らず穏やかな天候でした。昨年、春に前任者の田中さんから引き継ぎ周りの方にはご迷惑をお掛けすることばかりでした。理事長としての立場として何をしたらよいのか分からず右往左往するばかりの一年だったように思います。しかし、沢山の方のご協力のお陰で1年を運営出来た事、この場をお借りして感謝申し上げます。

さて、昨年度は障害者雇用問題が大きく取り沙汰された一年でした。支援を必要とする子どもさんを持つご家族にとっては不安に思われたことではないでしょうか。先の将来を決めるにあたり身近にいる者が良い選択を導くためには何をすればよいか、これからも学んでいかななくてはいけない事を感じました。去年よりは今年、今年よりは来年と子どもたちや皆さんと共に成長していきたいと思ひます。

この1年も変わらずご協力のほど、よろしくお願ひいたします。



サンデークラブ



実行委員一同

30年度の活動も年間を通して来てくださるボランティアの皆さんに支えられて、無事に終了することが出来ました。毎月1回のサンデーは恒例の「子どもの日コンサート」「クリスマスコンサート」を『音楽で街を明るくする会』の皆さまが来てくださっています。今回の「クリスマスコンサート」はタップダンスを踊って下さり、子ども達・ボランティアの皆さんも目の前でのタップダンスに釘付けで、とてもたのしみました。工作は季節に合った物を作っています。子ども達はボランティアさんに助けをもらいながら、個性あふれる作品が完成し写真を撮るときはみんな誇らしい顔をしているのを見ると私達も嬉しくなります。いつも協力して下さる先生・ボランティアさん、保護者の方に感謝しています。

来年度も子ども達に季節を感じてもらえる活動ができればと思っていますので、よろしくお願ひします。

サンデークラブでの作品



2019年 サンデークラブ実施日

4月 21日	8月 18日	12月 15日
5月 12日	9月 8日	2020年 1月 12日
6月 16日	10月 20日	2月 9日
7月 14日	11月 10日	3月 15日



共に育つことの意義

川上おひさまクラブ事務局 田中文代

早いもので川上おひさまクラブを立ち上げた頃は幼稚園児だった我が家の次男も今では大学生となり家を離れました。おひさま参加当事者であった彼の兄（ダウン症）も今では社会人、おひさまクラブで夏の日を過ごしたことも遠い思い出です。彼らの助けが無くなった今、事務局としての私の仕事は、あたふたと年々体力の衰えとの闘いですが、今年もまたその準備の時を迎えようとしています。

市の行う日中一時支援事業もこの数年で拡充が進み、施設の数も増え、昔のように長い夏休みの間、障害児を預ける場所も無く家にこもりきりで何もできないという保護者の方も今では少なくなってきたかと思いますが、そんな中で私たちがおひさまクラブを実施する意義はどこにあるのか、私はその大きなものの一つとして「次世代のボランティアを育てる」ということがありますと考えます。開始当初は支援学校の先生方の参加も多かったおひさまクラブですが、近年ボランティアさんの主流はすっかり高校生の方々になり、彼らは私たちの期待に答えておひさまの子どもたちと、とてもよく遊び、交流して下さっています。障害児と接するのが初めてで、朝来たときは不安そうな顔の高校生さんが、帰り際には担当した子どもさんとの別れを惜しみ、表情も一日ですっかり大人びていて、びっくりすることがよくあります。若い人たちはぐんぐん育ってゆく力を持っているのです。



若い頃におひさまクラブのボランティアのような体験をすることは、目には見えなくとも、その後の人生にきっと何かの影響を与えていることと思います。本市は一昨年国から「共生社会ホストタウン」の認証を受けました。名ばかりではなく真の意味で「共生社会」を形づくっていくには、彼らのような若い力がその素地を作ってくれてこそ、と思っています。



ゆうゆうクラブ



支援ボランティア 山下 一枝

ゆうゆうクラブ「寺子屋“ほわ♡りん”」の活動に、昨年5月から関わって、約一年近くになろうとしています。“ほわ♡りん”という名前のように、「ほっと」できる居場所づくりのお手伝いできればという思いでいます。日常生活が豊かになるようにと、「簡単クッキング」で、おやつ作りなど楽しんでいます。「たこ焼き」「ホットケーキ」「豆乳かん」「ゼリー」「きなこ棒」などなど。おやつタイムには、「ほっと」和みのひとときを共に楽しんでいます。その他にも得意なことを生かして、絵を描いて「プラパン」作りをしたり、散歩に出かけて四季折々の自然に触れたりしながら、当たり前の日常生活の経験が豊かになるように「場」づくりに今後も励みたいと思います。



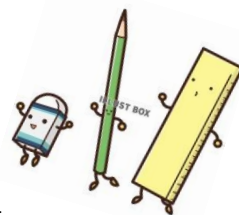


わくわくクラブ(学習支援)



保護者 藏藤

「寺子屋ほわ♡りん」に通うようになって、もうすぐ一年になります。
 最初のころは初めての場所で行きたがらず、ズル休みをしていた息子がこの一年で真面目に通うようになり、最近では受験生になるという自覚も芽生えてきたようで、夜中まで勉強する姿に親としてもビックリしております。部活もあって、通う回数は週一回と少ないですが、いろいろなイベントに参加させて頂き、息子の世界を広げてくれた先生方に感謝しております。これからもよろしく願いいたします。
 スタッフより
 わくわくクラブで勉強しようとする子どもたちも去年より増えみんな頑張っています。



手作り会



昨年度からお母さん達からの声で手作り会が始まりました。初めは活動費の足しにと始めましたが、悩みや不安な事、日頃子どもさんの様子などいつの間にか、おしゃべりに花がさいています。作品作りでは中々アイデアが浮かばず苦戦していましたが、そこは三人寄れば文殊の知恵ではありませんが、得意な方がどんどん知恵を出してご家庭で眠っている物を持ち寄り作りを楽しんでいます。昨年度は「在宅障害児者と家族を支援する会」の学習会・「宇部市障がい者福祉推進事業」による公開講座・ANA「虹の架け橋プロジェクト」で販売しました。この一年も月一程度で開催したいと思っておりますので奮って参加して下さい。

2019年度手作り会予定日

5月 10日	11月 1日
6月 7日	12月 6日
7月 5日	2020年
8月 お休み	1月 10日
9月 6日	2月 7日
10月 4日	3月 お休み

学習会での販売



※臨時開催する場合があります。
 都合の良い日だけの参加もOKです。



2018年度 活動報告

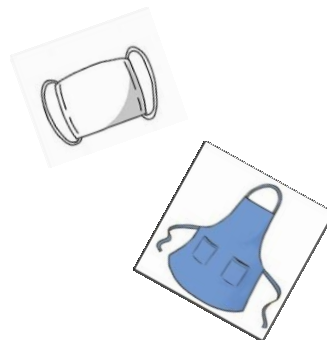


2018年4月
 ~2019年3月

サンデークラブ
 開催場所: 宇部総合支援学校
 開催日: 毎月第2日曜日

2018年4月
 ~2019年3月

ゆうゆうクラブ
 開催場所: 寺子屋ほわ♡りん
 開催日: 第2・第4土曜日



2018年4月 わくわくクラブ
 ～2019年3月 開催場所: 寺子屋ほわ♥りん(松崎町3-6)
 開催日: 毎週火曜日・木曜日

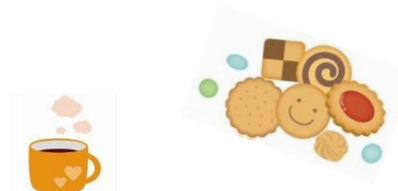
2018年4月 ここにこカフェ (月2回)
 ～2019年3月

2018年 4月 「おひさま生活塾」総会
 2018年 6月 「メタセコイアを見に行こう」常磐公園
 2018年 8月 おひさまクラブ
 開催場所: 宇部市立川上小学校
 開催日: 川上小学校 6日間

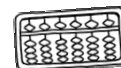
10月 「小野湖で自然を発見しよう」～湖畔デイキャンプ～
 11月 公開講座(宇部市障害者福祉推進事業 補助事業)

2019年 3月 「さつまいもでクッキング」
 2018年 4月 発達障害児を支えるネットワーク協議会 (年間 8回)
 ～2019年 3月

2018年 4月 発達障害啓発 ときわウォーク 参加
 2019年 2月 ANA「虹の架け橋プロジェクト」参加



2019年度 決算収支



収入 1,618,640 円 支出 1,224,011 円

【寄付】

個人寄付 3,000 円
 立正佼成会 150,000 円

みなさま、ありがとうございました。

編集後記

おひさま生活塾の活動もほぼ 20 年経ちました。この間に、本会の活動に参加する子ども達の成長・発達の様子、保護者の方の家庭の事情や悩みなども少しずつ変化し、必要とされる活動や支援方法も新たに工夫しなければならない時期に来ているように思います。

本会は、会員が子育ての必要に迫られ自らの手で立ち上げ、さらに保護者の必要に応える形で活動を継続してきたものです。この活動の支えになったのは、地域の方や高校生・大学生などの多くのボランティアさん、行政・関連専門機関の職員の皆さん方の力でした。

今年度は、理事長をはじめ役員も若返りが図られました。これからの運営は、新しい感覚で、会員が必要としている活動を、創造的に取り入れていかれることと思います。

これからも、地域の皆様のご協力のもと、子ども達の豊かな生活環境づくりを目指していくことに変わりはありません。皆様のご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

おひさま生活塾ホーム(<http://ohisama-seikatu-jyuku.jimdo.com/>)

